

# Arbitrage-EA-M パラメータ説明書

## ■Arb\_Send.ex4■

OrderName=システム名称です。「Arb\_Get.ex4」と同じ名称に設定して下さい。

## ■Arb\_Get.ex4■

OrderName=システム名称です。「Arb\_Send.ex4」と同じ名称に設定して下さい。

Lots=ロット数です。

Entry\_PriceWidh=「Arb\_Send.ex4」が稼動しているブローカーの価格よりこの値の pips 分のズレでエントリーします。

例) Entry\_PriceWidh=「5」のとき「Arb\_Send.ex4」が 100 円。「Arb\_Get.ex4」が 99.95 円以下となれば「Arb\_Get.ex4」のブローカーで買いエントリーします。

Close\_PriceWidh=エントリー後、ズレがこの値の pips 分以下になれば決済します。

Limit=リミット値を入力します。「0」で OFF です。

Stop=ストップ値を入力します。「0」で OFF です。

SlipPage=許容スリッページ値です。

MAGICNUM=マジックナンバーです。他の EA と同時に稼動する際には異なる番号で設定して下さい。

## 【使用方法】

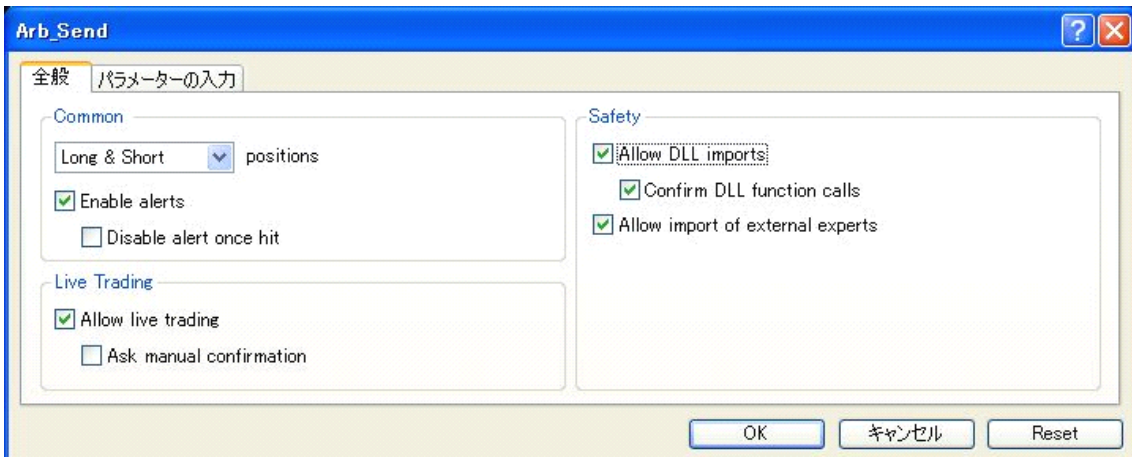
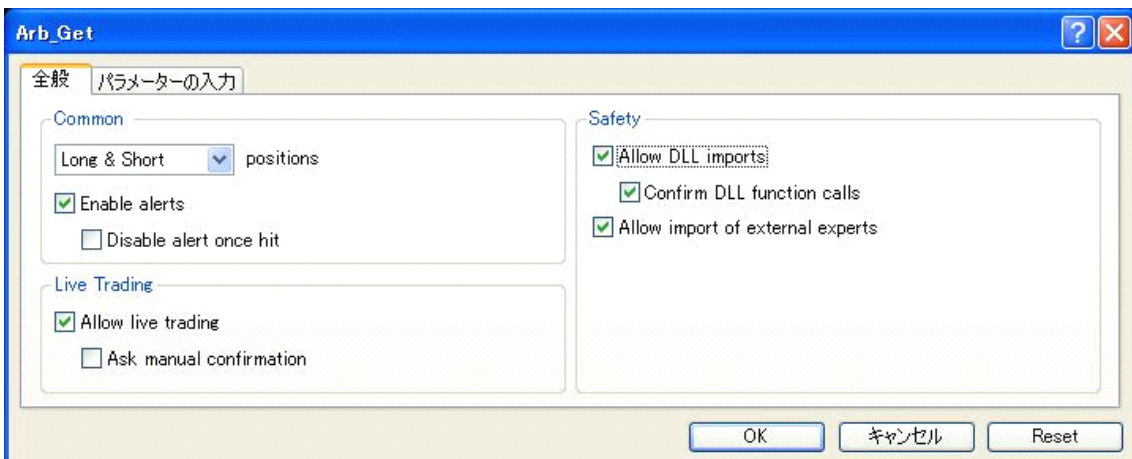
稼働の準備としてまずは各ファイルを下記の通り保存して下さい。

Arb\_Send.ex4 . . . . . 価格を送るブローカーの MT4 フォルダの experts に保存して下さい。

Arb\_Get.ex4 . . . . . エントリーするブローカーの MT4 フォルダの experts に保存して下さい。

OrdersSync.dll . . . . . 上記 2 つの MT4 フォルダの experts の中にある libraries フォルダに保存して下さい。

稼働させる際の設定は以下の通りです。



稼働後、Arb\_Get.ex4 のチャートで赤いラインが動いていれば正常に稼働しています。

無駄な動作や処理は極力省き、動作スピードを最重要点項目として開発致しました。バージョンアップも開発の余地があれば実施致します。

もしもリアルで稼げるブローカー組み合わせを見つけられましたら一人極秘で稼いで下さい。

この度は誠にありがとうございました。